



やどかり研究所

第21回(2022年度)やどかり研究所報告・交流集会のご案内

日時 2023年 **3**月 **4**日(土) 9時30分～15時30分

会場 やどかり情報館

※ COVID-19の感染状況を鑑みて、オンライン・会場参加の併用(ハイブリッド開催)を予定しています。

主催 公益社団法人やどかりの里 やどかり研究所

第21回やどかり研究所報告・交流集会を開催します

COVID-19の感染拡大から3年がたとうとしています。日常の暮らしは大きく変化しました。外出すること、人と会って話すこと、会食を楽しむこと、多くの人が集まる機会の制限等々、感染や感染拡大を防ぐことを優先した対応となりました。その結果、オンラインでの交流が推奨され、便利さが増す一方で、マスク越し、モニター越しのコミュニケーションが当たり前になりました。感染対策を重視することで失ったもの、失いつつあるものがあるのではないかと、日本社会の脆弱性が影響を大きくしてきたという側面もあるでしょう。それぞれの3年間を振り返りつつ、これからの考える機会にしたいと思っています。

また、新型コロナの影響が続く中で、ロシアによるウクライナ侵攻も長期化し、原油高騰に端を発した物価の上昇、「戦争ができる国」を目指す憲法改正の動きの活発化、社会に目を転じると看過できない問題が山積しています。

一方、2022年8月には国連障害者権利委員会の対日審査(日本における障害者権利条約の履行状況の審査)が行われ、9月には総括所見(勧告)が公表されました。日本の障害者諸制度はパターンリスティックであると国連から指摘されました。障害のある人を権利の主体とした法制度へと大きく見直す好機にしなければなりません。

社会の動き、国際的な動向、そしてCOVID-19の影響を捕捉しつつ、皆さんとの討論の機会になればと思っています。

やどかり研究所 入会のご案内

会費 年間12,000円(4月から翌年3月まで)分割での納入も可能です。

※会費には機関紙「やどかり」購読料を含みます。

会員の特典

- ・会員には、さまざまな研究会や学習会のご案内をお届けし、参加費の割引を用意します。
- ・やどかり出版の発行する「響き合う街で」(年4回発行)、やどかりの里が毎月発行する機関紙「やどかり」、年1回発行される所報「やどかり」を送付します。
- ・やどかり出版の発行する出版物を定価の2割引で購入できます。(出張販売の折には対応できません)
- ・会員が「響き合う街で」に総説・解説・研究・実践報告等の寄稿をした場合、優先的に掲載する権利を保有します。

2023年3月4日（土）プログラム

9:00~ 9:30 受付

9:30~ 9:45 開会 あいさつ / 活動報告

9:45~10:20 情勢報告

永瀬 恵美子（やどかりの里事務局長）

《休憩》

10:30~11:10 会員による研究・実践報告と討論

報告① やどかりの里の「知」は精神保健福祉教育にいかにか活かされるか

<発表者> 東田 全央（淑徳大学アジア国際社会福祉研究所）

<共同発表者> 藤井 達也

<要旨>

日本では、精神障害者の収容型施策と人権侵害がみられてきた歴史の中で、いくつかの地域実践が実践理論の形成と教育への還元を主導してきた。その一つとして、やどかりの里では当事者およびその家族とともにソーシャルワーカーらが1970年以来活動を行い、協働的实践を基盤としたローカルな知も構築してきた。本報告では、それらの協働的实践から生み出された「知」と経験が精神保健福祉教育にいかにか反映されるかについて探索的に議論する。精神保健福祉士国家資格化以降の主要な教科書からサンプルを抽出し質的内容分析を行った。結果、やどかりの里の歴史的な位置づけ、当事者の声が反映された記述内容、実践理論・概念を含むカテゴリーが見出された。それらの分析結果とともに、試行的な授業等を通じて、いくつかの教育上の課題等も散見された。本発表は中間報告であり、精神保健福祉教育等のあり方について、会場と議論を深めたい。

報告② 精神科領域における「造形教室」

— 「二重の『つくる』場」、その実践と可能性について—

<発表者> 飯塚 瑠美（やどかりの里すてあーず）

<要旨>

美術家・安彦講平は1967年から、都内の精神科病院で「造形教室」をひらいてきた。安彦らは造形教室について、芸術療法ではない、「二重の『つくる』場」であると述べる。一人一人が自らの内面と向き合い、作品を「つくる」場であると同時に、ともに過ごす人達が、何気ない会話を通じて関係性を築いていく、人とのかわりを「つくる」場である、という意味であり、さらにこの二重の場が、「自らを癒す」営みになると語る。

筆者は2005年、当時のメンバー数名に「造形教室との出会いで、自分が変わったと思うこと」をインタビューし、個々のケースにおいて、造形教室での営みが、確かな「癒し」となっていることを記録した。今回はその記録の中から、メディア等で公開されていない事例を紹介するとともに、「表現することで、自分で自分を癒す」とはどういうことか、そしてその営みは、この地域でも実践できるか、その可能性について共有したい。

11:10~12:00 特別報告

障害者権利条約対日審査, そして総括所見 (勧告)

〈報告者〉 増田 一世 (やどかりの里理事長)

〈要旨〉

2022年8月にスイスのジュネーブで行われた障害者権利条約の履行状況についての日本審査を傍聴してきた。国連の障害者権利委員会は、政府の報告と市民社会(障害のある人や関係者)の報告を聴き、9月に日本への総括所見(勧告)を出した。とりわけ日本の精神保健福祉医療については、厳しい内容が突き付けられた。私たちはこの勧告をどう受け止め、どう生かすのか考えたい。

《休憩/昼食》

13:00~15:30 実践報告と討論

—新型コロナとどう向き合ってきたのか, そしてこれから—

〈報告1〉 やどかりの里と感染症対策 (調整中)

〈報告2〉 COVID-19感染拡大時の精神障害のある人や家族, 事業所職員への影響と経験知の調査研究

渡邊 奏子 萩崎 千鶴 渡邊 昌浩 (やどかりの里)

〈報告3〉 高齢者や事業所への影響とこれから

小島 美里 (暮らしネット・えん)

〈報告4〉 大学教育への影響とこれから

山口 忍 (茨城県立医療大学)

《休憩》

討 論

指定発言 松田 正己 (東都大学沼津ヒューマンケア学部)
藤井 達也 (泉地域精神保健福祉研究所)
結城 俊哉 (立教大学コミュニティ福祉学部)

参加費

やどかり研究所会員は, 1,000 円 (資料代として)

やどかり研究所の会員でない方(一般)は, 2,000 円

*参加費は, 事前にお支払いいただきます。

ただし, 会場参加の方は, 会場でのお支払いも可能です。

参加の申し込み

ご案内の「参加申し込みについて」をご覧ください。

- * グーグルフォームで, 参加のお申し込みをしていただきます。
- * グーグルフォームでの申し込みが難しい方は, FAXでも受付しています。
- * 参加の申し込みの締め切り日は, 2023年2月28日(火)です。

お申し込み・お問合せ

やどかり研究所事務局 (やどかり情報館 内)

TEL: 048-680-1891 FAX: 048-680-1894

E-mail: y.kenkyu@yadokarinosato.org

〒337-0026 埼玉県さいたま市見沼区染谷 1177-4

－参加申し込みについて－

◎ 事前に参加のお申し込み・ご入金をお願いいたします。

3月1日（水）までに参加費をご入金ください。ご欠席時の払い戻しは致しませんのでご了承ください。オンライン参加の方には、3月1日以降に、やどかり研究所事務局から、オンライン参加用の URL（ミーティング ID、パスコード）を送ります。

参加費のご入金口座

以下の口座に入金をお願いします

入金口座 埼玉縣信用金庫 片柳支店 普通 0836761

口座名義 公益社団法人やどかりの里 やどかり研究所 事務局長 増田一世

グーグルフォームでお申し込みの方

◎ 下記の申し込みフォームからアクセスしてください。

<https://forms.gle/TfuVWluvvqnA41BTA>

* 申し込みフォームで、研究所会員か一般か選んでください
お名前、住所、当日連絡のつく電話番号、メールアドレス、
備考欄にご所属（ある方）を記入してください。

※ 個人情報は、上記の目的以外には使用いたしません



FAX でお申し込みの方

FAX 番号：048-680-1894

申し込み日付 月 日

会員区分	研究所会員 ・ 一般	何れかに○で囲んでください
参加会場	オンライン ・ 会場	何れかに○で囲んでください
氏名		
所属	(ある方をご記入ください)	
連絡先	住所 〒	
	電話番号：	
	オンライン接続などで確認事項が生じたときの連絡のために、当日連絡のつく電話番号をお知らせください	
備考	E-mail	
	参加用 URL や事前配布資料等を受け取るアドレスをお願いします	

申し込みの締め切りは、2023年2月28日(火)です。

ご参加を楽しみにお待ちしております。よろしくをお願いいたします